

介護・障がい福祉・医療・保育のコングロマリット経営が一目でわかる

講座	セミナー内容
第1講座	医療・福祉業界が抱える経営課題 人口減少・物価高騰・人材確保難といった構造的課題に直面する中で、医療・福祉業界の経営環境はかつてないスピードで変化しています。本講座では、政策・労働市場・補助金・DXなど最新の業界トレンドを踏まえながら、経営層が今押さえるべき「持続成長のための戦略的論点」を提示。多拠点化・複合化を見据える法人が取り組むべき課題とチャンス进行明らかにします。 株式会社船井総合研究所 人的資本経営支援本部 マネージャー 手塚 颯
第2講座	高生産性を実現する経営戦略(事業戦略×人財戦略) 年商82億円・経常利益率8.5%・常勤換算900名という高生産性を誇る法人の経営実例を徹底解剖。地方商圏でも実現可能な「収益性×成長性」を両立させる事業ポートフォリオ構築、DX活用による業務効率化、リファラルを中心とした採用戦略、職員が早期に活躍できる育成体制など、すべての戦略が“組織”で実行される仕組みに注目します。 (左)医療法人社団青藍会 経営戦略本部 本部長 谷 伸幸氏 (右)医療法人社団青藍会 経営戦略本部 イノベーション事業部 部長 眞鍋 裕美氏
第3講座	医療・福祉業界が取り組むべき生産性向上の取り組み 生産性向上に取り組むとは、「人を増やさず成果を最大化できる組織をつくること」。本講座では、採用・育成・評価・業務改善・DXのすべてを“人材投資と組織体制”という視点で統合し、生産性を高める経営の型を紹介します。福祉法人が明日から始められる実践ステップと、経営幹部と一体で進めるための仕組みづくりをご提案します。 株式会社船井総合研究所 人的資本経営支援本部 本部長 宮花 宙希

開催日時

東京会場

2025年10月30日(木)

会場/船井総研グループ 東京本社
サステナグローススクエア TOKYO

14:00~17:00
(受付開始 開始時刻30分前~)

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲八重洲セントラルタワー35F
[JR「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)、東京メトロ丸の内線「東京」駅地下直結(八重洲地下街経由)]

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。
また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

お申込み期日

銀行振込み:開催日6日前まで クレジットカード:開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます

受講料

一般価格 税抜20,000円 (税込22,000円)/1名様 会員価格 税抜16,000円 (税込17,600円)/1名様
会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込み方法

【QRコードからのお申込み】
右記QRコードからお申込みください。

【PCからのお申込み】
<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/132964>
船井総研ホームページ (<https://www.funaisoken.co.jp>) に
右上検索窓に「132964」をご入力し検索ください。

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp TEL 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

介護 医療 保育
障がい福祉 訪問看護

成功事例から法人経営のポイントが1日で学べる

年商80億円以上 従業員数1,000名以上

県内トップクラスの医療・福祉法人の
高生産性多角化経営
モデル事例大公開

人口減少×低成長時代の医療・福祉法人の成長方程式

事業人財DX公開

特別ゲスト講師

青藍会グループ

医療法人社団青藍会 経営戦略本部 本部長 谷 伸幸氏
山口県を代表する地域包括ケア団体を目指し、医療・介護・子育て支援・障がい者支援のサービスを展開。複数事業の多角化経営で毎年成長を続けている。

医療法人社団青藍会 経営戦略本部 イノベーション事業部 部長 眞鍋 裕美氏

医療・福祉業界向け生産性革命セミナー

お問い合わせNo.132964

主催

サステナグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所
〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ(www.funaisoken.co.jp)右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。)

132964

青藍会グループについて

青藍会グループは、山口県を中心に医療・介護・子育て支援・障がい者支援の領域で多機能なサービスを展開する、地域密着型の総合福祉法人です。医療法人社団青藍会と社会福祉法人青藍会の2法人が連携し、生涯にわたって安心して暮らせる生活支援に取り組んでいます。

講師紹介

経営戦略本部 本部長

谷 伸幸氏

20年間DXソリューション営業に従事し、現在は青藍会グループの経営戦略本部 本部長として、医療・介護・福祉分野のDX 推進に取り組む。現場と経営をつなぐ実践的な支援を通じて、組織の変革を後押ししてい



講師紹介

経営戦略本部 イノベーション事業部部長

眞鍋 裕美氏

医療事務からキャリアを開始し、介護現場の管理者、人事部次長、DX部次長を経て現職。現在はイノベーション事業部部長として、職員のDX人材化を推進し、現場経験と育成・DXの知見を融合し持続可能な組織づくりを目指している。



事業内容



医師



薬剤師



作業療養士



社会福祉士



介護士



調理員



保育士

多様な専門家が連帯して、医療+福祉サービスを提供し、地域包括ケアを実現

障がい

医療

介護

保育



本部



管理栄養士・栄養士



言語聴覚士



ケアマネジャー



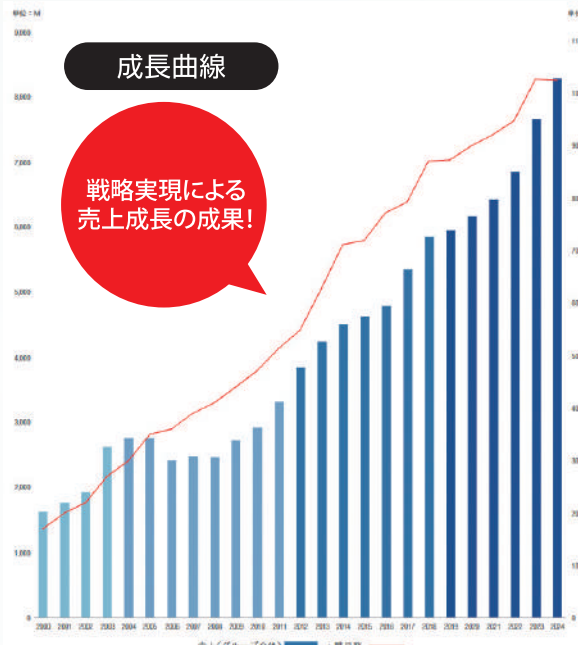
理学療養士



看護師

成長曲線

戦略実現による売上成長の成果！



売上(グループ全体) 職員数

ここが **ポイント**

1 県内トップクラスの医療・福祉法人

2 高生産性

3 DX・AIを活用した最新経営トレンド

たった**1日**でこれからの**福祉経営のすべて**がわかる

青藍会グループの**3つの戦略**を大公開!!

事業戦略

青藍会グループは「100億円規模の法人グループ」を目前に、次世代に向けた成長戦略を本格始動しています。医療・介護・在宅・子育て・障がい支援といった多角的なフィールドを活かし、地域の“これから”を支えるビジネスモデルの確立に取り組んでいます。

1 医療×在宅ケアで生まれる、新たな収益モデル

急性期から在宅まで切れ目のない支援体制を構築し、医療と福祉の連携による「医療×在宅」モデルを確立。高齢化が進む中で収益性と社会的意義を両立する中核事業として、持続的な成長を実現しています。



2 人口減少エリアでも成長できる仕組み

人口が減っても、地域に必要なケアは増えていきます。青藍会グループは施設依存から脱却し、在宅支援や地域連携を強化。自治体や地域団体と協働し、人口構造に左右されない事業モデルを構築しています。



3 地域に根ざした多角化と収益性の両立

病院、介護、障がい福祉、保育など、多分野を地域密着で展開。暮らしに必要な支援をワンストップで提供し、相乗効果による安定した収益と地域価値の創出を両立しています。



人財戦略

青藍会グループでは、「人」が組織の力そのものと捉え、採用・育成・配置すべてにおいて独自の戦略を展開しています。現場主導で人材が集まり、育ち、成果を出す——そんな自走型組織を目指しています。

1 ローコストで質の高い人材を呼び込む「リファラル採用」

青藍会グループでは、職員同士の信頼関係を活かした“紹介による採用”を積極的に推進。現場のリアルを知る職員が新たな仲間を呼び寄せることで、ミスマッチの少ない採用とコスト削減を両立しています。



2 自律的に活躍する職員・経営視点を持つ施設長を育てる

入職後すぐに現場で力を発揮し、主体的に動ける人材の育成を重視。また、施設長には経営数値や地域戦略への理解も求め、プレイヤーからマネジメントへと成長できるステージを整備しています。



3 社会福祉法人でも「生産性」を最大化する人材開発

「やさしさ」と「成果」は両立できる——青藍会グループはそう信じ、人材開発に注力。職員一人ひとりの特性を活かした配置や、マルチスキルを育てる仕組みにより、チーム全体の生産性を底上げしています。



DX戦略

青藍会グループでは、福祉の現場にこそDXが必要だと考え、業務効率とサービス品質の向上を同時に実現する独自の取り組みを進めています。人が人らしく働ける環境づくりを、テクノロジーの力で支えています。

社会福祉法人で生産性を高めるDX推進の実践

記録業務の電子化や情報共有ツールの活用により、職員の「時間」を現場に取り戻すDXを展開。煩雑な作業を効率化し、ケアに集中できる環境を整備することで、福祉法人全体の生産性を底上げしています。



2 1,000名を超える職員を“DX活用人材”に育てる仕組み

システムを導入するだけでなく、使いこなせる人材を育てるのが青藍会流。全職員を対象とした段階的な研修プログラムと現場伴走支援により、ITに不慣れな人もデジタル活用の担い手として成長しています。



3 「現場×AI」が支える、よりよいケアの実践

AIによる業務分析、見守りセンサーの活用、介護記録の自動化など、テクノロジーを福祉の現場に実装。単なる効率化にとどまらず、利用者一人ひとりに寄り添う“質の高いケア”の実現に貢献しています。

